

今のまちを残したい

- ・農業の町を継続させたい
- ・なりわいという視点で農業を発展させていきたい
- ・神社を残し、神社の祭りも継続していきたい（諸木八満宮、ふなと神社）



住みやすいまちにしたい

- ・居住エリアと農業エリアを分けたい
- ・コンパクトなまち作りをしたい
- ・子どもが住みやすい街（子育てがしやすい街）を作りたい
- ・子育て支援施設を作りたい
- ・高齢者が集う場所を作りたい

地域の繋がりを強めたい

- ・春野町全体で祭りを開催させたい
- ・農家に横のつながりがあるため、その繋がりを継続させたい



にぎわいのあるまちにしたい

- ・農業を活性化、発展させたい
- ・農業について、個人農家ではなく、若者の働き口が新たにできるような仕組みを作りたい
- ・働く場所を作りたい（若い人の誘致）
- ・市内の小学校に農業体験に来てほしい
- ・海岸で花火大会を実施したい
- ・西畑人形を夏祭りで披露したい



■お知らせ

（回答はこちらから⇒）

ホームページ上に掲載した「意見投稿プラットフォーム」でも意見を募集していますので、気軽にご回答ください。



■お問い合わせ先

高知市 防災政策課 事前復興まちづくり担当
TEL : 088-823-9055
FAX : 088-823-9085
Mail : kc-080200@city.kochi.lg.jp

高知市 事前復興 まちづくり ニュース VOL.1

R 8. 8. 20

春野地区 事前復興まちづくり計画 第1回ワークショップ （春野地区）を 開催しました！

地域の方
18名参加

ワーク1は2ページ、ワーク2は3ページ、ワーク3は4ページに表示しております

※掲載スペースの関係により、すべての意見を載せてはおりません。ご了承ください。

●ワークショップの内容（予定）

第1回

令和8年7月4日 開催

- ・春野地区の良いところ・残したいもの、普段の生活で困っていることについて
- ・復興パターン2案について
- ・楽しくなるような未来のまちについて

第2回

令和8年10月頃 開催予定

- ・目指すべき姿（案）について
- ・修正復興パターンについて
- ・速やかに復興するために必要なことについて

第3回

令和9年1月頃 開催予定

- ・修正復興パターン（最終案）について
- ・災害が起きる前からできることについて

7月4日（土）、春野文化ホールピアステージにて、春野地区事前復興まちづくり計画第1回ワークショップを開催しました。ワーク1では「春野地区の良いところ・残したいもの、普段の生活で困っていること」、ワーク2では「復興パターンについて」、ワーク3では「春野地区で住み続けたいような楽しい未来の姿」について、みんなで話し合いました。

事前復興まちづくり計画とは？

南海トラフ地震を想定し、被災前に復興まちづくりの目標や課題解決のための方策をとりまとめたものです。市で作った計画案を基に、地域の皆さんと一緒に作っていきます。

計画策定の効果

- ① 早期の復旧・復興事業の着手により、街の復興を早める
- ② 適切な基盤整備の規模で被災地を復興できる
- ③ 人口流出の抑制につながる

被災前 に作成

高知市事前復興まちづくり計画
・復興基本方針
・地区別事前復興まちづくり計画
など

被災後 に作成

高知市復興計画
・復興計画の区域・復興に関する基本事項
など



暮らし

良いところ・残したいもの

- 一人当たりの生活空間が大きい
(住宅同士が離れており、中心市街地ほど過密ではない)
- 自然が豊かな
- 静かで住みやすい
- 綺麗な淀川や野中兼山ゆかりの水路を残したい

困っていること

- スーパー等が少なく、買い物に困っている
- 車がないと不便である
- 小児科・産婦人科がない
- 本屋がない
- 公民館がない
- 学区が広く、子どもの登下校が大変である(暗い道もある)

公共交通

困っていること

- デマンドタクシーが少ない
- バスの本数が少ない
- 公共交通が不便

公共施設

良いところ・残したいもの

- 2つの小学校、中学校、高校を残したい
- 春野総合運動公園を残したい

災害

困っていること

- 避難所までが遠いことが心配
- 液状化が心配
- 津波が長浜川を遡上するので心配
- 田畑の塩害が心配
- 家屋の倒壊により道路がふさがれる
- 道がせまく、避難できない

地域・文化

良いところ・残したいもの

- 人間関係が親しみやすい
- 人と人との繋がりがあがる
- 今まで春野町が一体となって発展してきた
- 伝統の祭りを残していきたい
- 神社・仏閣を残したい

困っていること

- 人口減少が激しい(特に若者の流出)
- 高齢化が激しく進んでいる
- 地域の交流が少なくなっている
- みんなが集まる行事が少なくなっている
- 春野町全体で開催するお祭りがない
- 地区運動会がない



産業

良いところ・残したいもの

- 野菜・花の生産者が多い
- 農業・漁業が盛んなまち
- 昔、土佐十景になるほど景観が良い
- 農業のある風景を残したい
- 盛んな農業を残したい
(ハウスや田園風景)
- 伝統野菜を残したい(弘岡カブ)
- 春野漁港を残したい

困っていること

- 後継者不足

道路

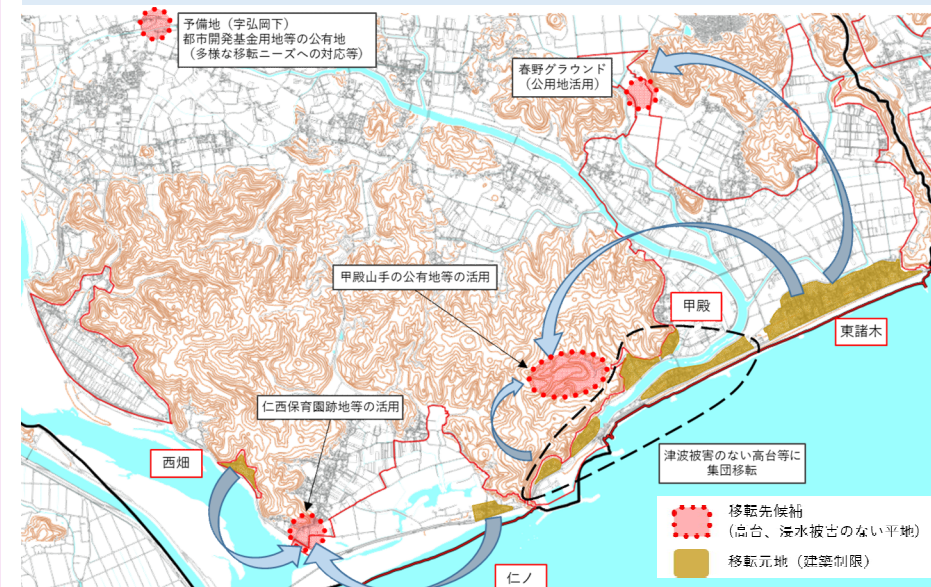
困っていること

- 道が狭い
(デマンドタクシーも入れない狭い道がある)
- 春野町時代に区画整理が行われたが、甲殿地区だけ行われていない
- 水路が老朽化している

【第1案】移転対応案

○全体の主な方向性 高台移転等によるコミュニティの維持

- 甚大な被害が想定される箇所の高台移転、浸水対策を講じた平地移転によるコミュニティの維持
- 地区の安全性の向上
- 津波浸水からのまちの迅速な復興



いいね！

- 子供たちも住み続けられる
- 商業施設も新たに建ちやすいのではないか

ちょっと心配…

- 区画整理と合わせて盛土をしないといけない地区は時間がかかるのではないか
- 市街化調整区域と農業振興区域にかかっているため、開発が難しいのではないか
- 高低差による移動が大変になる

1案と2案の共通意見について

- 地域特性も踏まえたパターン案を作りたい
- 被災前にできる事業があれば着手すべきである
- 人が少なくなっているため、集落の再編が必要ではないか



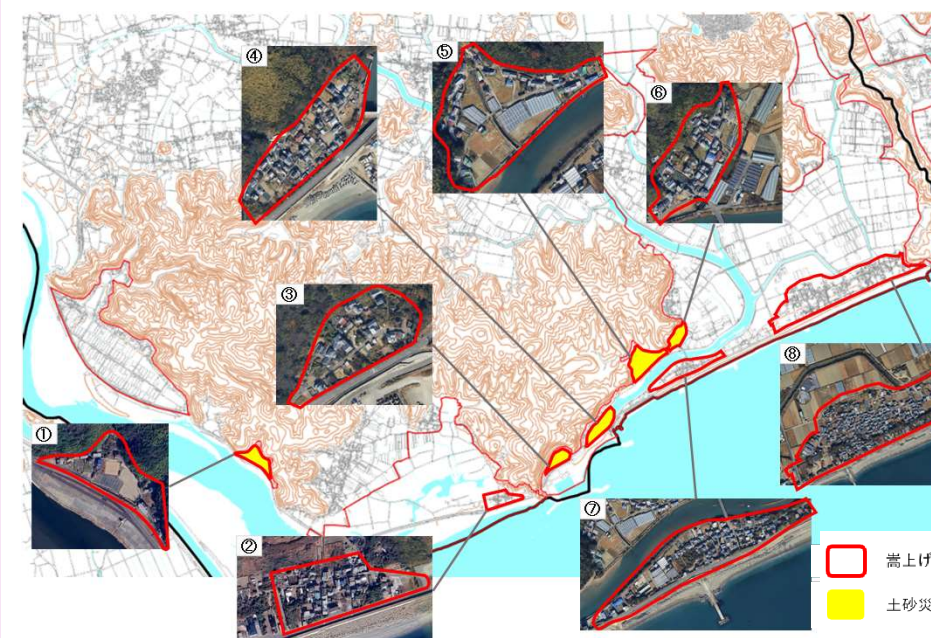
こうしてほしいな

- 事前に土地の購入等ができるなら行いたい
- 移転先に災害復興住宅を整備したい
- 街をコンパクトにしたい
- もっと内陸(北側)への移転も検討したどうか

【第2案】高上げ案

○全体の主な方向性 住み続けられる復興を基本とするコミュニティの維持

- 現地再生(甚大な被災が想定される地区で面的高上げにより津波安全性の高い住宅地を復興)
- 地区の安全性の向上



ちょっと心配…

- 高上げすると風の影響を受けるのではないか
- 高上げた土地の地盤の弱さが心配(液状化)
- 土の確保が難しいのではないかな

